

春の叙勲

功績輝いて

受章おめでとうございます

2019年春の叙勲受章者が5月21日に発表されました。南越前町では、次の方々が受章の榮譽に輝かれました。

瑞宝双光章(教育功労)

赤澤 孝さん

(阿久和・70歳)



昭和46年に県立学校教員となり、県立藤島高等学校校長などを歴任されました。平成6年には県教育庁に勤め、高校入試の学区、学校群廃止などの課題解決を進められました。また、藤島高校卒業の南部陽一郎氏がノーベル物理学賞を受賞した際に同校長を務めておられ、生徒に功績を伝え好奇心を育むなど、38年間学校教育と教育行政の職務に尽力されました。

受章の声 この度は、栄えある章を拝受し、身の引き締まる思いであります。これもひとえに多くの皆様方のご支援とご指導の賜と感謝いたします。今後も、地域の皆様方と共に教育振興に貢献していきたいと思っております。

瑞宝双光章(教育功労)

三田村 一弘さん(上別所・77歳)

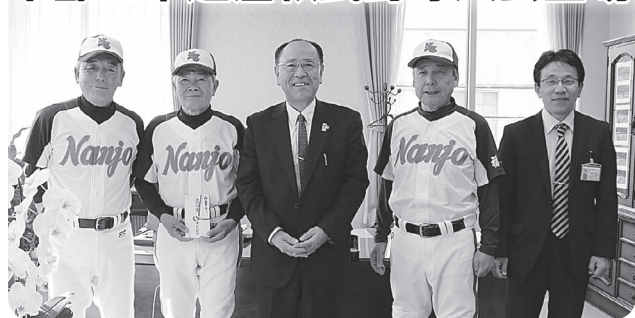


昭和39年に県立敦賀工業高等学校教員となり、町立南条中学校長などを歴任し、35年余りの長きにわたり学校教育の発展に尽力されました。平成11年には南条町教育長に就任し、南条小学校移転改築に携わり、県内初のエコスクール認可など地球環境にやさしい学校づくりに寄与されました。また、南越前町教育委員長としても教育振興に力を発揮されました。

受章の声 このような名誉ある章を賜り、誠に光栄に存じております。これまで多くの皆様方の支えにより今日を迎えることができましたことを心より感謝申し上げます。今後も、これまでの経験を活かし教育振興に貢献していきたいと思っております。

第11回

中部日本還暦軟式野球大会出場



(写真左から平野監督、丸岡代表、岩倉町長、南主将、坂井事務局長)

5月18日から20日まで新潟県で開催された第11回中部日本還暦軟式野球大会に南条野球クラブが出場しました。5月8日、チームを代表して丸岡正智代表(清水)と平野秀雄監督(東大道)、南正博主将(上野)が役場を訪れ、岩倉町長から激励を受けました。丸岡代表からは試合への意気込みを語りました。8県から選出された24チームがトーナメント方式で対戦し、初戦は静岡県代表のオール志太クラブと対戦しました。

JA越前たけふ『車いす贈呈式』



5月17日、越前たけふ農業協同組合の富田隆組合長ほか2名が役場町長室を訪れ、車いす贈呈式が行われました。JA共済連が全国的に行う地域貢献活動の一環で、町への車いす贈呈は今回が初めてです。富田組合長から岩倉町長に車いす12台の寄贈目録が手渡された後、岩倉町長は「善意に心から感謝します。有効に活用し、小・中学校では福祉教材としても活用させていただきます」と謝辞を述べました。町では、町内7校の小中学校と3地区公民館に配置して活用させていただきます。